

収支内訳書の記入例

■表面記入例

裏面の「収入金額の明細」欄から書き写します。

経費は、農業に関して支出した費用が対象です。電気代・ガソリン代などに家事部分が含まれているときは、領収書や通帳の余白に農業部分の使用割合を記入し、計算してください。

裏面の「減価償却費の計算」欄の合計金額を書きます。

農業用倉庫などの固定資産税額が分からない場合は、固定資産税納税通知書に同封されている「課税明細書」を申告時にご持参ください。

提出用

令和 7 年 2 月 17 日

科 目	金 額 (円)
販 売 金 額 ①	2,737,000
家事消費 金額 ②	179,000
雑 収 入 ③	3,000
小 計 (① + ② + ③) ④	2,919,000
農産物の 期首 ⑤	35,000
棚卸高 期末 ⑥	63,000
計 (④ - ⑤ + ⑥) ⑦	2,947,000
雇 人 費 ⑧	40,000
小作料・賃借料 ⑨	20,000
減 価 償 却 費 ⑩	281,060
貸 倒 金 ⑪	
利 子 割 引 料 ⑫	
租 税 公 課 イ ⑬	13,800
種 苗 費 口 ⑭	27,000
素 畜 費 ハ ⑮	
肥 料 費 ニ ⑯	86,000
飼 料 費 ホ ⑰	
農 具 費 ヘ ⑱	75,000
農 業 費 ト ⑲	68,000
諸 材 料 費 チ ⑳	165,400

令和 6 年分収支内訳書 (農業所得用)

住 所	東御市県281-2	業種名		依頼 事務所所在地	
フリガナ氏 名	東御 太郎	農園名		氏 名 (名称)	
		電 話 番 号	6 2 - 1 1 1 1	電 話 番 号	

住所・氏名・電話番号を記入してください。

(自 1 月 1 日 至 1 2 月 3 1 日)

科 目	金 額 (円)
修 繕 費 リ	98,000
動力光熱費 ヌ	193,720
作業用衣料費 ル	16,000
農業共済掛金 ラ	18,000
荷造運賃手数料 ワ	265,500
土地改良費 カ	63,000
ヨ	
タ	
レ	
ソ	
雑 費 ツ	28,000
農産物以外の 期首 ネ	
棚卸高 期末 ナ	
経費から差し引く果樹牛馬等の育成費用 ラ	
小 (イ～ネまでの計 - ナ - ラ) ⑬	1,117,420
経 費 計 ⑭	1,458,480
専従者控除前の所得金額 (⑦ - ⑭) ⑮	1,488,520
専 従 者 控 除 ⑯	744,260
所 得 金 額 (⑮ - ⑯) ⑰	744,260
⑰のうち、肉用牛について特例の適用を受ける金額	

○雇人費の内訳

氏名・住所又は作業名	日数	現 金 物	合 計	源泉徴収額
大日向337 御技総一	延 日 7	40,000	40,000 円	0 円
その他 (人分)				
計			⑧ 40,000	0

合計金額を左の経費の⑧欄へ記入します。

○小作料・賃借料の内訳

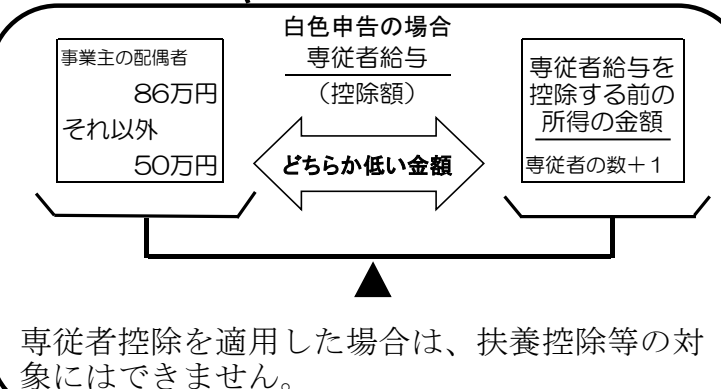
支払先の住所・氏名	小 作 料、賃 耕 料 等 の 別	面積・数量	支 払 額
小諸市相生町3-3-3 高峰 すみれ	賃借料	20a	20,000

支払額の合計金額を左の経費の⑨欄へ記入します。

○事業専従者の氏名

氏 名 (年 齢)	続 柄	従事月数 月
東御 花子 (63 歳)	妻	12
(歳)		
(歳)		
(歳)		
延べ従事月数		

専従者控除 (⑯欄) を適用した場合、記入してください。



■裏面記入例

農作物の種類ごとに1年間の金額をそれぞれ記入します。詳しくは、「白色申告者の決算の手引き（農業所得用）」の2～6ページを参照してください。

家事消費や親戚へ贈答した場合、収穫時の価格に消費数量を掛けた金額を記入します。

農産物の棚卸高については、「白色申告者の決算の手引き（農業所得用）」の1～2ページを参照してください。

温室やビニールハウスで収穫したものが該当します。

販売金額と家事・事業消費金額の「A小計」+「B小計」+「C小計」の合計金額を①欄、②欄にそれぞれ記入します。また、表面の①・②欄にも記入します。

J Aに出荷し、通帳に入金されている場合は、市場手数料などの各種手数料等を差し引いた後の金額が入金されています。
販売金額欄には、これらを差し引く前の金額を記入します。手数料等は、経費に計上してください。

表面の③・⑤・⑥欄へ
記入します。

○収入金額の明細																	
農産物等の種類品名等		作付面積 飼育頭羽数	販売金額	家事消費額	農産物の棚卸高				農産物等の種類品名等		作付面積 飼育頭羽数	販売金額	家事消費額	農産物の棚卸高			
					期首		期末							期首		期末	
					数量	金額	数量	金額						数量	金額	数量	金額
畑	米	60 ^a	715,000	65,000					花	220 ^m	135,000	12,000					
	りんご	28	737,000	37,000	110	35,000	195	63,000	特殊施設								
	巨峰	10	700,000	20,000													
	ブロッコリー	10	450,000	15,000													
	自家用野菜	3		30,000					B 小計	220	135,000	12,000					
									農産物計	331 ⁿ	2,737,000	179,000			⑤ 35,000		⑥ 63,000
									(A+B)								
									頭明								
									畜産その他								
									C 小計								
A 小計	111	2,602,000	167,000			35,000		63,000	合計	① 2,737,000	② 179,000			合 計	③ 3,000		
												雑収入の内訳					
												区 分 金 額					
												水稻共済金 3,000					

減価償却費については、「白色申告者の決算の手引き（農業所得用）」の7～10ページ、14～20ページを参照してください。

減価償却費の計算方法が分からない場合は、「農業機械等の名称・購入年月・購入価格」のわかるもの（領収書等）を申告時にご持参ください。

旧定額法の場合
取得価格の95%相当まで償却します。
残り5%分は未償却残高が1円になるまで5年間均等償却を行います。

農作業で使用する割合を
記入します。（家事分は
除きます。）

表面の⑩欄に
記入します。

10月に取得しているので、
3ヶ月分が対象です。

原価償却資産等 (繰延資産を含む)	面積 又数	取得 (成熟) 年月	取得価格 円	償却の基礎 になる金額 円	償却 方法	耐用 年数	償却率 %	本年 の償却 額 円	本年 の償却 率 ($\square \times \text{耐用年数}$)	特別 償却 費 円	本年 の償却 率 ($\square \times \text{耐用年数}$)	事業 用割合 %	本年 の必要 償却額 (ト×チ) 円	未償却残高 (期末残高) 円	摘要
農作業小屋 (本造)	1	17・10	5,000,000	250,000	—	—	—	12月 12	50,000	—	50,000	100	50,000	100,000	均等償却
田植え機	1	3・9	320,000	320,000	定額	7	0.143	12月 12	45,760	—	45,760	100	45,760	167,466	
軽トラック	1	3・12	855,000	855,000	定額	4	0.250	12月 12	213,750	—	213,750	80	171,000	195,937	
バインダー	1	6・10	400,000	400,000	定額	7	0.143	3月 12	14,300	—	14,300	100	14,300	385,700	
								12月 12							
								12月 12							
計								12月 12	323,810	—	323,810		281,060	849,103	

○果樹・牛馬等の育成費用の計算（販売用の牛馬、受託した牛馬は除きます。）

果樹・牛馬等の 名称	取得・生産 職等の 年月日	イ 前年 の年 線越 額	育成費用の明細				ト 育成中の果 樹等から生じ た収入金額	ヘ 本年に取得 価格に加算する金 額（ニ－ホ）	本 年中に成 熟したもの の取得価 格	チ 翌年へ の年線 越額 （イ＋ヘ－ト）	ロ 欄計 の金額 の算方
			ロ 本年中の 育苗費、種付 料、素費	ハ 本年中の 肥料、農業等 の投下費用	ニ 小計 （ロ＋ハ）	ホ 育成中の果 樹等から生じ た収入金額					
		円	円	円	円	円	円	円	円	円	
計					ラ						

◎~~本年中における特殊事情~~

